

事業所名	てらびあぽけっと西田辺教室
------	---------------

公表日 2025年11月15日

利用児童数 28 回収数 21

		チェック項目	はい	どちらといえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか	21				とても綺麗だと思います。適度に広く、また個室もあって安心です	引き続き安全面に配慮し、スペースの確保をしていきます
	2	職員の配置数は適切であると思いますか	20	1			1人に1人先生がついていただけて安心です。15時クラスの受け入れ人数を増やしてほしいです。4名体制になってからソーシャルセラピーが増えた気がします	4人体制となった現状を踏まえ、職員間で支援の役割分担や連携を強化し、ソーシャルセラピーの時間にも配慮しながら運営する方針を共有しました。今後も体制に応じて支援の質を維持できるよう工夫していきます
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか	19	2			レッスンを行う部屋、運動や遊びを行う部屋等、子どもが切り替えるように工夫された空間になっています	どのお子さまにもわかりやすいよう、また個室内は集中して取り組めるような環境設定を引き続き行っています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか	21				とても清潔できれいな空間で子どもも居心地がいいようです	玄関が狭いため、お送りいただいたときやお迎えの時などは室内にも案内しています。今後も清掃や整理整頓に気を付け、環境美化に努めます
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか	21				先生1人1人が勉強されており、とても専門性の高い支援を行っているのがわかります。運動の支援を増やしてほしい(広いので)	専門的な支援への評価を励みに、引き続き質の向上に努めます。また、ご要望のあった運動面の支援についても、活動内容や環境を工夫しながら取り入れていくよう検討します
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか	20			1	一人ひとりにあった支援を組んでいただいている	カリキュラムチェックリスト825などを用いながらお子さまに必要な段階を今後も取り組んでいきます
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか	20			1	アドバイスが的確でいつも参考にさせていただいている。通わせることが大変なので気軽に増やすよう言わないでほしい	通所が保護者様の負担になることを改めて理解し、今後は負担感に配慮したうえで利用回数についてお声かけするよう職員間で共有しました。必要性がある場合には、その理由を丁寧に説明し、ご家庭の状況を伺いながら無理のない範囲で相談していきます
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか	20			1	できることが増え、また新しい課題も毎回きちんと準備してくださっています	ガイドライン項目は支援計画に記載しており、都度説明をさせていただいておりますが、専門的な内容もありますので、ご不明点があればお声がけください
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか	21				沿った支援を行っていただけています	お子さまの個人ファイルにコピーを入れて、職員がいつでも見返しができるようにしています。大きくズレが無いように今後もつとめます
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか	18	1		2	毎回いろいろなプログラムを用意してくださっていて子どもが楽しんでいます。サークル、バランスストーン等の導入に感激しました	「いつでも、どこでも、だれとでも」を目指して、繰り返し行う場合もありますが、意図をご理解いただきありがとうございます
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域での子どもの活動する機会がありますか	8	1	2	10	幼稚園や習い事に通っているので特に必要を感じません	地域の園と協働できることがあれば検討していきます
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか	21				毎回丁寧に説明してくださっています	ご契約時に一通りのお話をさせていただいております。機会に合わせて、都度お伝えさせていただきます
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか	21				困りごとに対して支援内容を組んでいただいている	保護者様のご要望とお子さまの今後の発達をどのように添えができるか？という観点で計画書を作成・説明させていただいています
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか	20			1	子どもへの接し方や声掛け、とても参考になります	家族支援の時間や、保護者会なども行っています。たくさんの方にご参加いただき感謝申し上げます
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか	21				連絡帳が毎回丁寧に書いていただいている、見るのが楽しみです	利用ごとに貴重なお時間をいただきましてありがとうございます。お子さまの今後の成長を共有させていただく貴重な時間となっております
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか	20			1	毎回10～15分ほど時間をかけてゆっくり話を聞いてくださっています	こちらこそ、いつもありがとうございます！以前よりもたくさん的时间を費やして共有できているため、より支援に生かしています
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか	21				どうすればよくなるか、一緒になって考えて下さる気持ちが伝わります。相談しやすく、ありがとうございます	解決策をお伝えするだけではなく、ご家族の生活の様子も想像しながらご提案するように気を付けています
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか	14	4	1	2	保護者会やイベントを定期的に企画や開催をされており、また参加させていただきたいと思っています	保護者会や親子イベントなど、機会を設けて取り組んでいます。今後もご参加いただきやすい形を模索して提案できればと思っています
子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか	20			1	人気で混んでいてもレッスンの振替えや追加利用を早く対応してくださり嬉しいです	LINEは時間を問わずメッセージをお送りいただけますのでご都合に合わせてご利用ください。その他、一斉配信などもありますので都度ご確認いただければと思います
	20	子どもや保護者の意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	21				LINEで欠席や変更の連絡ができるので助かっています	LINEでの連絡の利便性を生かしつつ、欠席加算が必要な際は確認のため電話でお話を伺う方針を共有しました。今後もご負担の少ない連絡方法を心がけます

	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか	20	1		インスタグラム見ています！動画を送ってくださるのも親子で見ています♪	SNSや動画配信がご家庭で活用されていることを励みに、今後も分かりやすい情報発信を継続していきます。活動内容やお知らせも、より適切な頻度と方法でお伝えできるよう工夫してまいります
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか	20	1		インスタグラム投稿において、顔はスタンプで隠されていたが体操服のゼッケンが隠されていなかった。指摘後、対応していただいた	今回のご指摘を受け、SNS投稿における個人情報の取り扱い基準を再確認し、投稿前のダブルチェック体制を徹底することにしました。今後はゼッケン・名札・背景情報なども含め、個人が特定される恐れのある要素を職員間で確認し合い、より安全な情報発信に努めます
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか	17	1	3		玄関に閲覧していただけるものを準備しています。内容も随時更新していますので、お時間があれば自由にご覧ください
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	2	4		避難訓練を半年に一度行っています。消防署に水消火器をお借りして、消火訓練を行い、お子さまにも見ていただきました
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか	19		2		他にも大阪市の救命救急講座を職員全員受講するなどして取り組んでいます
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていますか	18	1	2		事故予防対策を行っています。万が一、事故が発生した際には保護者様への連絡、その場の救急対応、自治体への報告など進めています
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか	21			とても安心して落ち着いて通っています	嬉しいお言葉ありがとうございます。保護者様にも安心してお預けいただけるように療育の様子を動画に撮るなどして様子を見ていただけるように工夫しています
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか	21			長く通わせていただいて、子供も毎回楽しく通わせています	楽しみにもらっているようで、とても嬉しいです。今後も楽しくご利用いただけるように職員一同努めます
	29 事業所の支援に満足していますか	20	1		先生たちがいつもニコニコ元気な方たちでいつも楽しんでいます	今後もお子さまや保護者様に寄り添えるよう、努めます。こちらこそ、いつもありがとうございます！

## 事業所における自己評価結果

事業所における自己評価結果					
公表					
事業所名		てらびあはけっと西田辺教室		公表日： 2025年 11月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		指定基準に基づき、スペースを確保している
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		基準に沿った配置をしている
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		行動面の環境設定はイラストや写真で行っている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		整頓、清掃、消毒は毎日行い、清潔に保つよう気を付けています
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		静養室として使用できるように整えてている
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		職員会議は基本全員参加だが、やむを得ず参加できなかった場合は議事録を読み、管理者兼児発管から補足説明を受けている。日々の朝終礼でも意見交換ができる
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		公表はSNSでお知らせしたり、教室入り口に掲示したりするなど工夫している。ご意見は真摯に受け止め、改善に役立てている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		職員会議だけでなく、普段の会話でも共有を行っている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3		本部SVIによる内部監査を行い、業務改善につなげている
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		内部研修や外部研修など、知識が偏らないように気を付けています。また区の自立支援協議会でも独自の研修を行っており、積極的に参加している
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		情報公表制度に基づいて、支援プログラムを公表します
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		適宜アセスメントを行い、ガイドラインに沿って支援計画を作成している
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		朝終礼で情報を共有し、意見交換をしている
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		更新した計画書は利用者の個人ファイルに入れていつでも見られるようにしている
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		インフォーマルなアセスメントを使用して記録を振り返りながら支援を行っている
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		支援計画書には各領域および支援内容を踏まえて、具体的な目標と支援内容を記載している
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		担当職員及び、職員間で企画や振り返りを行ながら進めている。ABAのプログラムに沿って療育を実施するため、ある程度の固定はあるが偏らないように工夫している
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		個別プログラムはアセスメントに基づいて行っている
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		支援計画には集団活動や日常生活での目標も設定して優先順位を考えながら組んでいる
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎日の朝礼でその日の役割分担を決めている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		特変事項などは療育終了後すぐに職員間で情報共有をし、利用者の個人ファイルに記載、日報にも記載するようにしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		療育データ、連絡帳、定期的なアセスメントを行い、利用者の支援につながるよう活用している
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		保護者様との日々のお話の中でお互いに利用者児童の様子を共有し活用している
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		主に児発管が参加しているが、児発管以外の職員が参加することもある
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		全員ではないが、お子さまによって取り組んでいる

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	できる範囲でおこなっている。保護者様からのご要望には今後も応じていきたい	一部の子どもの園には直接行かせてもらったり、来ていただいたらしているが全員ではない
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	サポートブックの作成や、区の自立支援協議会(児童の部)で話を聞いたりすることができる	全員に取り組みができていません 無回答：1
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	センターを利用しているお子さまの連携は取れていると思う	他事業所ともつながりをもって行き来できるといいなと思う。日常的なスーパーバイズや助言をいただく機会は無いので今後工夫してほしい
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこども活動する機会があるか。	4	特定の幼稚園(保育園、認定こども園)とのかかわりはないが、親子イベント時に他児と触れ合う機会がある	地域交流はなかなか難しくてできないと思う。意図した交流はもっていない。事業所として機会はないが、ほとんどのお子さんが幼稚園やプレ幼稚園に通っている
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	毎利用時に家族支援の時間を取り、保護者様にお話を伺うことができている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	保護者会や家族支援の時間に話をする機会がある	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	契約時に一通り説明をしているが、変更があったときには利用時に声かけをして伝えている	個人では行っていないが、管理者兼児発管が行っていると思う
保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	モニタリングやアクセスメントを行っている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	計画書を提示して説明を行い、同意を得られている	個人では行っていないが、管理者兼児発管が行っていると思う
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	家族支援の時間に行えている。その他の時間であっても適宜対応している	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	保護者会を開催している。イベント時にはごきょうだいにも参加していただき、接点を作るよう工夫している	保護者同士の機会はあったがやきょうだい同士で交流する機会はなかった。保護者同士の交流も、機会はあったが交流が十分行われたかというと、もう少し対応できたかもしれない
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	家族支援の時間があるため、その時に話をしてくれる保護者様が多い。しかし個別に相談の要望をいただいたときは適切に対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	SNSを毎週更新し、更新したことを保護者様へ一斉配信でお知らせしている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	法人内で個人情報取り扱いの研修を行い、意識を統一している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	お子さま一人一人に合わせて、大人が理解を深められるように、お子さまが理解し、発信できるための環境の工夫と療育を実施している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	招待することはないが自治会には入会している	事業所開放データ検討中
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	保護者は配信でお知らせしたり書面で配布するなど周知するために工夫をしている。また、昨年の気づきから玄関に閑覧用の物を置いて誰でも閑覧できるようにしている	
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	業務継続計画を策定し防災訓練も規定通り行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	今は該当児童がいないが、注意が必要なお子さまのごとは保護者から話を詳しく聞き、職員同士で共有している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	該当児童はありませんが、契約時に児発管が聞き取りをして職員に共有している	食事の提供を行っていないため、指示書に基づく対応を行ったことがない 無回答：1
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	安全計画を作成し、必要な訓練を年間で計画し実施している	安全管理が十分かと言われると、十分ではないような気がする
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	通常の注意喚起、掲示、お知らせは行っている	事業所で行っている安全確保の取り組みを保護者様へわかりやすく伝えられてないので、工夫が必要
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	ヒヤリハットの事業が起った時はその日中に共有し、記録を取っている。職員会議でも共有し、対策を講じている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	教室単位で半年に一度、法人全体で年に一度、合計二度の研修の機会を設けて取り組んでいる	研修を受けて理解しているが、無意識の行動や発言が虐待につながる可能性もあるため、普段から言葉遣いに気を付けるなど意識をする
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	契約時に保護者様に説明を行っている。やむを得ず身体拘束を行う場合には職員間で話し合いを行い、保護者様に同意を得るようにする	意図していないくても、身体拘束をしているように見える場面があつた。職員が気づいたため、すぐに方法を変えて対応した。今後も意識をして対応したい

## 事業所における自己評価総括表

公表				
○事業所名	てらびあぽけっと西田辺教室			
○保護者評価実施期間	2025年11月1日 ~ 2025年11月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2025年11月1日 ~ 2025年11月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月15日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われる ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育(マンツーマンABA)の質が高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの特性に合わせた細かな課題設定(DTT、名詞/動詞/自立課題、感情ラベルинг、パーソナルインフォなど)</li> <li>・保育園・幼稚園・家庭との情報共有を丁寧に行い、支援の一貫性に配慮している</li> <li>・職員間で子どもの行動や成長の細かい変化を共有し、より良い支援方法を隨時検討している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面練習（外出、共同注意、他児との関わり）などソーシャル面の強化</li> <li>・支援計画書の言語化の精度向上（より分かりやすい説明ができるよう内部研修）</li> </ul>
2	保護者との連携と満足度が高い（SNS・動画配信・相談しやすさ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インスタグラムでの活動紹介や保護者への動画共有により、家庭で子どもの様子を振り返れる機会を作っている</li> <li>・LINEでの連絡が円滑で、保護者から「助かっている」との声も多い</li> <li>・面談・連絡帳でのコミュニケーションを丁寧に行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS投稿時の個人情報チェック体制の強化（ゼッケン・名札等の確認）</li> <li>・欠席加算時は電話確認など、制度上必要な対応を丁寧に説明しながら行う</li> <li>・情報発信の頻度・内容を見直し、より安心して預けられる環境づくりを進める</li> </ul>
3	職員の支援力とチームワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模ながら療育専門のスタッフが揃い、ABA支援の基礎が安定</li> <li>・職員内的情報共有（子どもの特性やその日の状態）をこまめに実施</li> <li>・療育への姿勢が真摯で、保護者からの信頼が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4人体制での役割分担見直しと業務効率化</li> <li>・ヒヤリハットや支援上の気づきの記録を共有しやすい仕組み作り</li> </ul>
	事業所の弱み（※）だと思われる ※事業所の課題や改善が必要だと思われるところ	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員体制（4人体制）における支援の最適化が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた人数の中でも質を落とさないよう工夫しているため、役割分担のさらなる明確化が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の優先順位の見直しと効率化</li> <li>・職員間の連携をより強化し、支援の質を維持</li> <li>・必要に応じて人員補強も検討</li> </ul>
2	ABA・マンツーマン中心の事業所だからこそ生じる“般化（汎化）しにくさ”が課題	マンツーマン中心のABA療育は個々の課題習得が進みやすい一方、園や家庭など実生活の場面での般化機会が不足しやすい点が課題と考えています	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他児との関わりや小集団活動の時間を意図的に設定し、一般化の機会を増やす</li> <li>・保護者や園と連携し、家庭や園での様子・課題を共有しながら、生活場面での実践につながる支援を検討</li> </ul>
3	利用回数の提案時に、より丁寧な“負担への配慮”が求められる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さまの成長や保護者の要望に応えようとする姿勢から、必要な支援量についてお話しする場面がある</li> <li>・ただし、保護者の生活状況・通所の負担感により細やかに寄り添うため、伝え方の工夫が求められる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回数提案時の“配慮した伝え方”的統一を職員間で共有</li> <li>・必要性を説明しつつ、保護者の負担・状況を丁寧に確認する体制づくり</li> <li>・今の利用回数でもできること、回数を増やすとできることの“見える化”</li> </ul>